

頭部 MRA スクリーニングの有効性を検証すべきである

本田 憲業

埼玉医科大学総合医療センター放射線科

編集長

筆者の編集者への手紙¹⁾に対する頭部 MRA スクリーニング委員長の回答²⁾ (以下, 委員長) について, まだ若干の疑問があるので, 再度, ご回答をお願いしたい。

委員長は, 1) 「あり方」³⁾は頭部 MRA スクリーニングの施行に公式な許可を与えたものでないこと, 2) 被検者の事前の説明と同意 (informed consent) が必要であること, 3) MRA の有効性を実証する研究の施行が望ましいが, 頭部 MRA の診断能⁴⁾の検討, および, 費用効果分析⁵⁾を行ったので, 施行する予定はないこと, を回答²⁾で明らかにしたと考える。

今回の質問は, 被検者への事前説明の内容についてのガイドラインを明示する必要があるのではないかと, および, このガイドラインと, 上記委員長の回答 1), 2) を「あり方」の続編としてまとめ発表するほうがよいのではないかと, の 2 点である。委員長回答²⁾は重要な内容を含んでいるので, 多くの読者の注意を喚起するために, 委員会での審議を経て, より強いインパクトのある「あり方」の続編としての掲載を希望する次第である。

さらに, 上記 3) については, 委員会が主となって, 無作為対照研究を遂行すべきであると再度訴えたい。我が国では, 某検診が, 有効性

を立証した科学的成績なしに法制化・実施されており, MRA スクリーニングが前者の轍を踏まぬ様にする必要があると思うからである。頭部 MRA スクリーニングが「今後更に急速に拡げられる趨勢」²⁾があるのだから, いっそう無作為対照研究を施行すべきと思う。MRA スクリーニングを現に施行している施設の参加, 協力を仰ぎ, 委員会が率先して研究を遂行すべきである。

以上, 再度の回答をお願いしたい。

文 献

- 1) 本田憲業: 「頭部 MRA スクリーニングのあり方について」を質す。日本磁気共鳴医学会雑誌, 15(2) : 61, 1995.
- 2) 古瀬和寛: 「頭部 MRA スクリーニングのあり方について」を質す」についての回答として, 日本磁気共鳴医学会雑誌, 15(2) : 62-63, 1995.
- 3) 頭部 MRA スクリーニング検討委員会報告(5): 脳動脈瘤と閉塞性脳血管病変のスクリーニングのあり方について。日本磁気共鳴医学会雑誌, 14(8) : 422-428, 1994.
- 4) 頭部 MRA スクリーニング検討委員会報告(4): 脳動脈瘤と閉塞性脳血管病変のスクリーニングにおける頭部 MRA の有用性の検討。日本磁気共鳴医学会雑誌, 14(8) : 415-421, 1994.
- 5) 飲沼 武, 館野之男, 古瀬和寛: 磁気共鳴血管撮影による未破裂脳動脈瘤検診の費用効果分析。日本磁気共鳴医学会雑誌, 14(7) : 340-349, 1994.

キーワード cerebral aneurysm, mass screening, magnetic resonance angiography

1995年 5月30日受理